



那覇西ク、男女制す

男子 幕際同点 延長で勢い

後半残り2秒、幕際で追いついた那覇西クが延長を制した。
24-25の1点ビハインド、21秒を残してタイムアウトをとった。「セットプレーで1本取る。最後はエースに任せる」と全員で確認。ゴール前中央でパスを受けた宮平淳司は「GKが右寄りに守っていた」と、左上へ豪快かつ冷静にシュートをたたき込んだ。
主将の一発が、後半攻撃が単調になって逆転を許したチームに、再び流れを呼びこんだ。宮平は「1、2点差で踏みとどまれば逆転できると信じていた」と胸をなで下ろした。
延長戦は、新垣英之のサイドシュート、友利彬彦のポストシュートと立て続けに決まの終始リードした。県内頂上対決に勝利し、県1位で九州選手権の出場権を獲得。
「前半いい形だったのに、後半に逆速攻を食らったのが反省点」という友利は、「上位に入ってジャパンオープンに出る」と次の目標を見据えた。
(大門雅子)

県一般ハンド

ハンドボールの第43回県一般選手権大会最終日は18日、八重瀬町の東風平運動公園体育館で男女1・2部

の決勝などを行った。男子1部は、那覇西クラブが延長の末、30-28でBICにを下し2連覇。女子1部は、那覇西クラブが25-23でシ

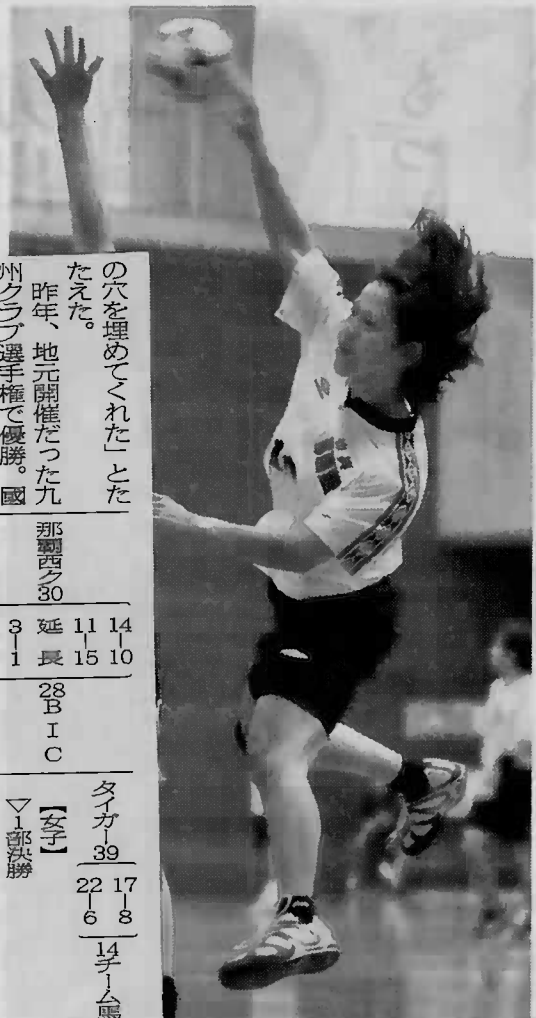
コルスを破って優勝した。男子2部はスポーツシヨップタイガ1、女子2部は沖国大が制した。男女1部の上位2チームは、九州選手権(5月7-9日、佐賀県)の出場権を得た。

GK好セーブ 攻撃持ち直す

女子

○女子那覇西クラブは、昨年覇者のシコルスに後半いったん逆転されるも、中盤に新垣祥子らの6連続得点で突き放した。相手のゆったりのペースに

合わせてしまったが、GK名嘉真知子の好セーブから持ち味の速い攻撃が息を吹き返した。国士館大を今春卒業し、この試合がデビュー



の穴を埋めてくれた」とたたえた。

昨年、地元開催だった九州クラブ選手権で優勝。国川主将は「もちろん連覇を狙います」と腕をまくった。

【男子】

▽1部決勝

沖国大 33
16-17
15-12

▽2部決勝

那覇西ク 30
2-3
1-1

▽同3位決定戦

那覇西ク 25
10-11
11-23

タイガ1 39
22-17
6-8

【女子】

▽1部決勝

那覇西ク 25
10-11
11-23

▽2部決勝

沖国大 27
13-14
14-9

23

アッシュ

シコルス

14

チーム馬